

てんてい新聞

15.2 No.21
発行所 市田日出
責任 0883-88-5292

いやら、いやなニュースが続く。

何か言えよ。どうなるという事がある

いが、無力感の方が強くなる。

どうして、こんな社会、世界になつてしま

ったの、どううか。

すべて、人が作り出したものだが、皆ん

は、生まれの時は同じなのに、……。

祖谷という地方に住んでいても、関係

がないと言ふ事、ますます事どもなすろ

だ。かといふと、では、何をどうすればいい

のかと問われれば、よい解決案もあえ

てこない。

徳島県内でも、大きな観

光の目玉である、祖谷の

おら橋、をかかえていいる祖

谷。外国人も増えているら

しいが、日常的な必要

地元の商店が、店ひま

らしい。

ほんまると、あつちこつち

不便だら弱ったの、アハ

溜くけれど、ちよつとま

あつち様でけど、地元の

おまかせ、飛屋が買え

おまかせ、飛屋が買え



は、その後がこい。市の中心部でも本屋さんが閉店するらしいが、これを暗いニュースの一つであらう。

ほんとかくはいもんだが、今まで「補助金」をあて

にこそ、補助金で商売を

して居る人たちにしれば、

方創生の名のあとに流

れくる金ズルは、嬉しい

限りだが、まさか創生は、

問題はではないらうかぬ。

寒い中では、ひかがア

デアも出てこい。めで

コーヒーでも飲め。

金がない地方の創生は、どうなるか

カニ、パン、ビール



店を利用する回数をやや少なくして、いたのは、私達一人ひとりではないだろうか。

何でか、再生は難しい。

人口は、減り続けている。祖谷という地方だけでは

ひい。先日、徳島県全体も人口が減つてるとい

うニュースがありました。

そこへ、地方創生のお金をつぎ込めば、話が出て

くる。県の国会議員たちあげ、各市町村もそ

うしりけど、金がある時だけ、元気が出るや

り。

金がある時だけ、元気が出るや

高野地区

